

吉川レポート

発行者：吉川まちづくり自治協議会 吉川地域センター
 ☎082-429-1879(吉川地域センター)
 開館時間(原則)月～金：8時30分～12時(利用がある場合を除く)
 センター：yoshikawa-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp
 自治協：yoshikawajitikyo@outlook.jp

地域の変化も活用し、住みよいまちづくりを!

5月19日、吉川まちづくり自治協通常総会を開催

吉川まちづくり自治協議会令和6年度通常総会を5月19日午後1時から吉川地域センターで開催しました。



前日までに書面表決票・委任状として議決権554個、当日の75個あわせて629個(総数763個に対し82.4%)が提出されました。当日は会員14名、理事14名、監事1名が出席しました。

最初に宮迫副会長が開会あいさつを行なった後副議長として出席状況の報告を求め、総会議長に木藤成大(東郷)さんを指名し出席者の了解を得ました。



宮迫副会長/議長を務めた木藤さん

木藤さんが議長となった後、村主会長があいさつ。「新たな産業団地造成計画が発表され、12月末ごろには具体的エリアが決まる。交通渋滞・

騒音問題など発生する課題についても皆さんと話し合う。地域とともにある小学校・中学校の方針を受けた学校運営協議会に参画している。吉川活性化PJT会議で、市との具体的協議を進めつつ、地域の皆さんの意見も聞き、これからも取り組みに反映する。」と述べました。



村主会長 土久岡会長

続いて招待組織として参加いただいた、土久岡会長・牧野副会長(八本松住民自治協議会)、北岡地域センター一長(原自治協議会)、戸光所長(東広島市八本松出張所)を代表して土久岡会長が「それぞれの地域のいいところを活かしたまちづくりに協力したい」と挨拶しました。

すべての議案を賛成多数で議決

続いて議案書の審議を行い、議案ごとに質疑討論を行いました。その後議案毎に採決し、全会一致でそれぞれの議案を議決しました。

総会は議長解任、閉会あいさつを行なった後終了しました。ご参加いただきありがとうございました。

<今月の句>

立て付けの悪きままなる春障子 記代
 廢寺のひときは長し藤の花 佳子

<議案表決の結果>

第1号議案：事業報告/決算報告/監査報告…全数賛成、
 第2号議案：事業計画及び収支予算…反対6票
 第3号議案：吉川地区自主防災会…全数賛成



議案/監査報告をする、左から角谷事務局長、平崎会計責任者、堀家地域センター事務職員、清水監事

<質疑模様>

◇第1号議案関連

Q:夏祭りに財産区議会を招待する習わしがあったが
 A:コロナ禍を経て4年ぶりの開催にあたって、新たな仕様を検討した結果である。

Q:補助金と助成金の単語の整理をお願いしたい

A:言葉の定義を踏まえ統一を図る

◇第3号議案関連

Q:手巻き式防災ラジオの全戸配布はできぬか

A:住民配布については意見を聞き、費用対効果を踏まえ検討したい

Q:発災時の住民避難に役員として協力するが、自己責任でかかわるとの意識をもって対応願いたい

A:特別の事情を除き指摘のこととなるが、とはいえ役員として臨むこととなる

◇その他関連

Q:基金から住民の祝いを支出してはどうか

A:基金は、地縁団体が①営利目的に使わない、②住民に配らないと等の制約で非課税とされている。提案は難しい

Q:財産区議長が自治協副会長を兼務することはガバナンス上課題があるのでは

A:市からの指導はない。逆に参加していることでコミュニケーションがスムーズであり、良い面が出ている。地縁団体の副会長は会長代行として執行権の代理を務めることはできても、財産処分などはできない。こうした場合は新たな会長選出が必須となっている

Q:活性化PJTの結果を早めに出すように

A:3度目の工業団地造成である。その都度の努力を多としても新たな宅地を作ることは難しい状況が続く。報告会で説明した優良田園住宅制度が今は一つの解決策である。当座はこれの実現に努力する。 <裏面へ続く>



発言する下石理事、波光会員

<前面より>

Q:行政 OB の活用を

A:高齢化と定年延長で次世代の担い手が見つからない。行政経験のみで吉川のこれからを解決できる状況にない。広い人脈・企画力を持つ民間企業出身者もいる。両経験者と連携し進めるのでアドバイスをいただきたい。行政・民間の出身を問わず協力していただける方の参画を求めたい。

<総会事前意見>

<意見>マイクロンの投資には歯止めが必要。水も電気も大量に使う。一時期基準値を超える処理水が生じた。温暖化のなか生活水の確保に不安が募る。市役所も投資ありきで大幅に人員を拡充し、今回の件も地元への説明を事前に行うことなく市長が報道発表するなど住民軽視の姿勢も問題である。熊本でも既に渋滞や地価の上昇、農地の転用など多くの負の側面も発生している。市役所やマイクロンの言うことを追認するのではなく推進・反対それぞれの立場の関係者や専門家を加えた議論を申入れる。現状の役員やPJTのメンバーだけでは不十分である。

<理事会見解>

半導体産業の動きは様々な角度で注目し、情報収集を図っている。吉川地域への工業(産業)団地造成による影響も見

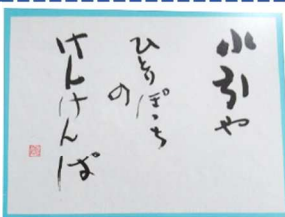
極める必要がある。東広島市は、記者会見前に、吉川自治協の他、地元の団体との情報交換を行い、発表後は地区責任者が同席した全役員会で説明。全役員会は意見集約を図り当面の要望(進め方)を決め市に提出している(既報)。吉川活性化 PJT は、地元メンバー・市担当・マイクロン社・関係法人で構成する。将来を見据え、吉川への移住者増を中心に置いて検討している。これまでの取り組みを4月6日地域で報告会を行った。(その席で産業団地構想を市が説明)。今後も理事会の取組みを「吉川レポート」で伝え、意見交換会も開催していく。皆さん一緒に考えていきましょう！

**総会終了後、第1回理事会を開催
年度事業の具体化、総会意見の取扱いを確認**

総会終了を受けて第1回理事会を開催し、最初に理事会役員の仕事分担を確認した後、総会に出された意見、1年間の取組みについて審議しました。

総会意見のうち、夏祭りの招待は昨年通りとする。手巻き式防災用ラジオの全戸配布は行わないことを決めました。理事会では、住民間交流を図るため各種イベントの開催内容などを工夫すること、引き続き部会・委員会を中心に地域課題に取り組むことなどを確認しました。

<吉川地域センター5月のロビー展>



↑書：西谷澄子



↑俳句教室の皆さんの作品

令和6年6月 吉川地域センター 講座他予定表

<吉川まちづくり自治協議会予定表>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		開催日など変更となる場合があります。				1 空手 英会話教室
2	3 俳句教室 大正琴	4 健康体操	5 クラフ教室	6 げんき塾 ヨガ教室	7 着物リフォーム 史跡保存会	8 空手
9	10 バランボール 書道教室	11 健康体操 編物教室	12 琴の会	13 げんき塾 ヨガ教室 管財課	14 着物リフォーム かけ教室	15 空手
16	17 大正琴	18 健康体操 JA女性部	19 三絃の会	20 げんき塾 ヨガ教室	21 着物リフォーム	22 空手
23/30	24 バランボール 書道教室	25 健康体操 編物教室	26 琴の会	27 げんき塾 ヨガ教室	28 着物リフォーム かけ教室 ののほな会	29 2回理事会 (全役員会) 空手

- 5月30日:きょうよう行座(断捨離)
- 5月31日:地域敬老事業説明会(市)
- 5月31日:防犯灯設置要望締切り(市)
- 6月2日:市民スポーツ大会陸上の部(市)
- 6月3日:学校田田植え
- 6月8日:八本松地域NW協議会(市)
- 6月9日:きれいなまちづくりキャンペーン(市)
- 6月9日:燃やせる粗大ごみ回収
- 6月18日:八中学校運営協議会
- 6月19日:八本松3自治協連携会議
- 6月27日:地域センター消防訓練
- 6月29日:全役員会・防災委員会
- 6月30日:燃やせない粗大ごみ回収
- 7月4日:吉川小学校学校運営協議会
- 7月7日:不法投棄缶瓶回収作業(市):市等主催行事

“吉川レポート”に関するお問い合わせは、
吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。
東広島市市民活動情報サイト「すきかも」もご覧ください
<https://www.higashihiroshima.sukikamo.jp/>



大雨警報など気象情報に関心を!
避難所開設情報が発出される時は、
地域に被害が想定される時です。